

中学生連載企画 私たちのふるさと松山学 No.42

北条北中学校

早坂暁さんありがとう

平成29年11月、1年生の時にいった地域の学習を通して、北条出身の作家・脚本家 早坂暁さんのことを知りました。その後、思いがけず早坂暁さんご本人からメッセージをいただきました。残念ながら平成29年12月に亡くなられ、お会いすることはできませんでしたが、その後、奥さまとお話する機会がありました。3年生になった今、当時のことを振り返ってみました。

早坂暁さんとの出会い

総合的な学習の時間で地域調べをした時、早坂さんを知りました。私の将来の目標は小説家です。「故郷の北条に、こんなすごい人がいるんだー」と尊敬の念を抱きました。詳しく調べていく中で、早坂さんの生い立ちや功績、考え方などを学び、「いつかは早坂さんのように、名作を世の中に発表していきたい。」と思うようになりました。

(渡部 眞美子)

早坂暁さん

北条地区まちづくり協議会・西山さんの紹介で早坂さんを知りました。調べていくうちに、とても北条にゆかりがあり、北条を大事に思ってくれている人だなと気付きました。残念ながら実際に会うこ



早坂暁特別展訪問の様子



地域学習の際に作成した「早坂暁さん新聞」

早坂さんからの手紙

私たちのふるさと北条にゆかりのある、こんな有名な人が、私たちのために心を込めて手紙を書いてくれたことがとてもうれしかったです。手紙の一言一言に元気や勇気をもらい、これまでの中学校生活でいろんなことに挑戦することができました。

(重松 芽衣)

鹿島にある記念碑

北条にある鹿島は、きれいな海とかわいい鹿のいる魅力あふれる島です。この鹿島に平成30年10月28日に、早坂さんの句碑が建てられました。句碑には「昭和とは どんな眺めぞ 花遍路」と刻まれています。



早坂暁さんの奥さま・富田由起子さんとの交流



句碑

来の夢が教師なので、早坂さんのことを子どもたちに教えてあげたいです。

(楠岡 菜月)

早坂さんの奥さまと出会う

早坂さんの奥さまと出会うまで、早坂さんが伝えたかったメッセージを大切に聞くことができて、とても光栄に思いました。故郷である北条の鹿島が大好きだったこと、「ありがとう」という言葉が口癖だったことなど、奥さまとの出会いをきっかけに早坂さんについてもっといろいろなことを知ることができました。

(高田 勇希)

花へんろの水辺

早坂さんの生家近くに「花へんろの水辺」と呼ばれる場所があります。「花へんろ」とは、脚本家・早坂暁を代表する作品で、ここ北条が舞台となっています。その作品名から名付けられ、早坂さんが揮毫した文字が刻まれています。ここは、地元北条の憩いの場となつてほしいという早坂さんの願いも込められています。ますます近くに「花へんろ橋」という橋も架かっています。これらのものが設置される際、早坂さんは積極的に参加していたそうで、地元への深い愛情を感じました。ぜひ皆さんも北条を訪れていただき、早坂さんの思いを感じ取ってみてください。

(金井 南樹)

早坂さんのメッセージを後輩たちに伝えたい



(後列左から)金井さん、高田さん、渡部さん、重松さん (前列左から)野口さん、藤方さん、楠岡さん(いずれも3年生)

早坂さんが送ってくれたメッセージをしっかりと受け取り、後輩たちに伝えていきたいと改めて思いました。そして、日本を代表する脚本家の早坂さんをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。



花へんろの水辺



「語り継ぎたいふるさと松山 百話 I・II・III・IV」もあります

先人と文化の読み物教材 広がれ！ ふるさと松山の心 松山ゆかりの先人78人と伝統文化や歴史のお話17話を掲載しています。購入方法など詳細は市教育研修センター事務局 ☎989-5144へお問い合わせください。